

LET'S 自動通話録音機 詳細取扱説明書

「自動通話録音機」(以下、本装置)は、電話機及び電話回線の間に本体を接続する事により、着信時の会話を自動録音し、会話内容を再生する事ができる装置です。
 また着信時、相手に自動で警告メッセージを流し電話犯罪を抑制する装置です。
 本装置は、アナログ二線式(アナログ回線/PBX回線/INS回線/IP回線)に対応しており、ナンバーディスプレイサービス、留守番電話機能、コードレス機能付き電話機、FAX付電話機に対応しています。

1. 本装置の特徴

◆通常回線モード

本装置は、電話着信時に発信側(相手)に対して、「この電話は、振り込み詐欺等の犯罪被害防止のため、会話内容が自動録音されます。これから呼び出しますので、このままお待ちください。」という警告メッセージを自動で流します。警告メッセージを流した後、着信側(お客様)の呼び出し音を鳴らし、応答した時から会話内容の自動録音を開始します。通信が遮断された時に、自動録音は停止します。

◆FAX対応モード

本装置は、発信側(相手)がFAXを送信した場合、警告メッセージを流さずに自動的にFAXを受信します。
 発信側(相手)が電話を掛けて来た場合は警告メッセージを流し、電話を着信します。

◆録音件数/時間

本装置は、1回の通話につき最大5時間録音することが可能です。1回の通話が5時間を超えた時点で録音を停止します。
 本装置の録音可能件数は最大2,000件、録音可能時間は最大60時間です。
 録音する通話が、録音可能件数/時間を超えた場合、古い録音音声から順に上書き録音します。

◆ナンバーディスプレイ対応

本装置はナンバーディスプレイに対応しており、ナンバーディスプレイ対応の電話機と接続してお使いいただけます。

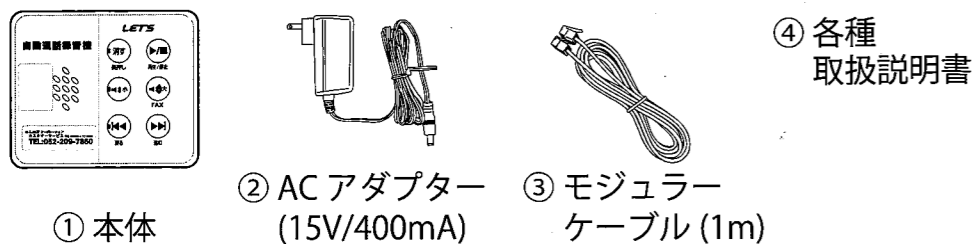
- 各モードで流れる警告メッセージは全て同じ内容です。警告メッセージを切る(流さない)ことはできません。
- 自動録音機能は、着信時のみ会話を録音します。また、留守番電話内容も自動録音できます。自動録音を切る(しない)ことはできません。

【ご注意】

- 1 ガス警報装置との併用は可能ですが、取り扱いが複雑になるため、必ずカスタマーセンターまでご連絡ください。
- 2 ガス警報装置以外の非常通報装置(ホームセキュリティやエレベーター、各自治体が配布している機器等)を使用している場合、正常稼働しない可能性がありますので本装置との併用はしないでください。
- 3 本装置を接続するとボイスワープの無応答転送機能はご利用いただけなくなります。予めご了承ください。
- 4 モデム、ルーター等をご利用の場合、モデム、ルーター等の機能の一部がご利用いただけなくなる可能性があります。予めご了承ください。

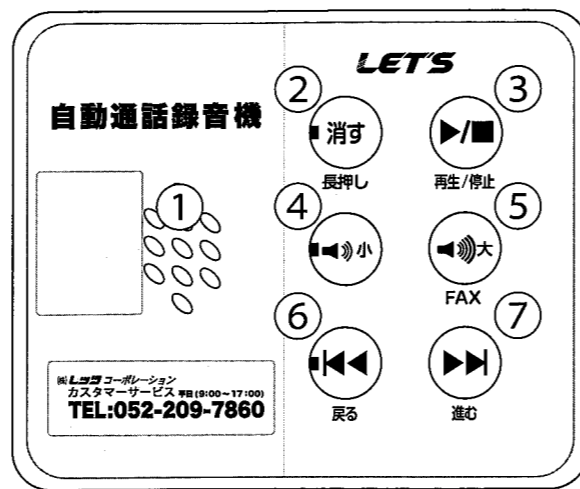
2. 構成・接続

2-1. 製品構成



2-2. 各部名称

■正面

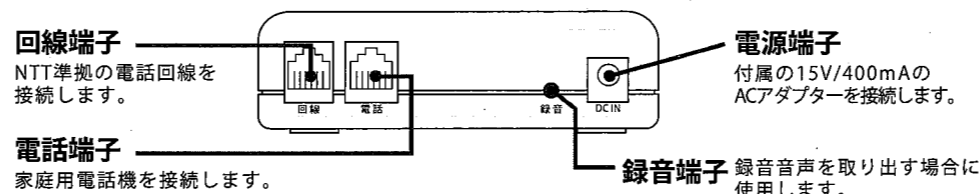


- ① **スピーカー**
・本体に内蔵されています。
- ② **[消す]ボタン**
・録音音声再生中に1秒以上長押しすると再生中の録音音声を消します。
- ③ **[再生/停止]ボタン**
・最新の録音音声を再生します。
・録音音声を再生中に押すことにより、音声を停止します。
- ④ **[小]ボタン**
・再生音声の音量を小さくします。
- ⑤ **[大][FAX]ボタン**
・再生音声の音量を大きくします。
・[FAX対応モード]にします。
- ⑥ **[戻る]ボタン**
・再生中の録音音声をもっと古い音声にします。
- ⑦ **[進む]ボタン**
・再生中の録音音声をもっと新しい音声にします。

LED状態ランプ (②・④・⑥ボタンについて)

- 待機中(電源ON) ... ②のLED状態ランプが点灯します。
- 着信中 ... ④と⑥のLED状態ランプが交互点滅します。
- 「全件削除」操作中 ... ②のLED状態ランプが点滅します。
- 接続異常 ... ②と④と⑥のLED状態ランプがすべて点滅します。

■側面

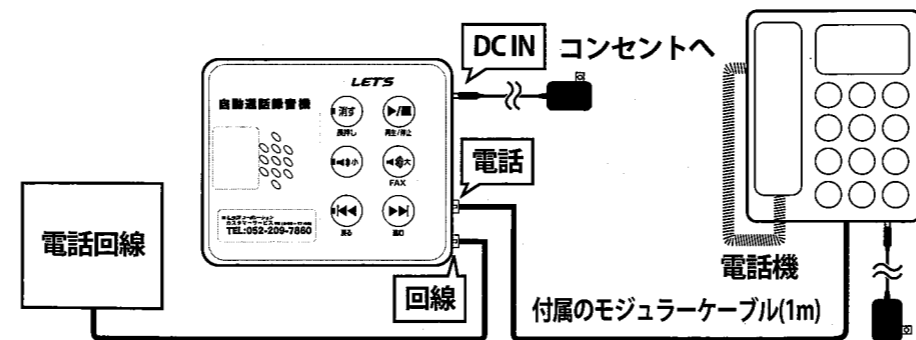


【録音端子で録音音声を取り出す方法】

[録音]端子にICレコーダーなどの外部記録装置(φ3.5/ステレオケーブル対応)*を接続すると再生中の録音音声を記録できます。

- *外部記録装置及び録音用ケーブルは、本装置の製品構成に含まれておりません。
- 外部記録装置に記録される録音音声はモノラル方式で録音されます。

2-3. 接続イメージ

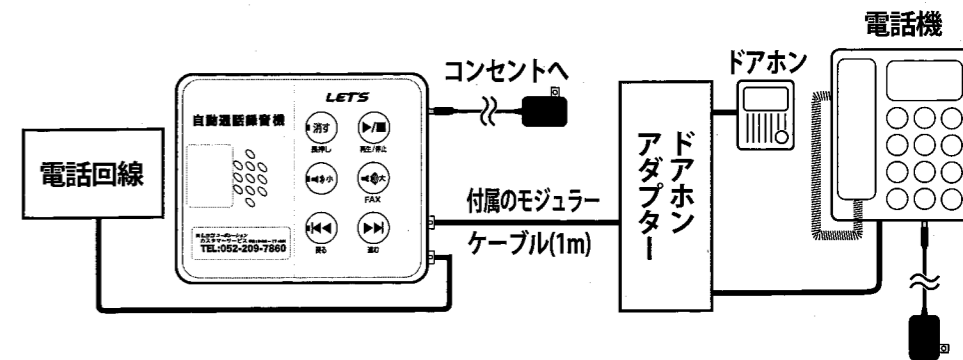


【接続方法】

1. 電話機が接続されている線を抜き、本装置の[回線]端子に奥までしっかりと接続します。
2. 本装置の[電話]端子と電話機を奥までしっかりと接続します。
3. [電源]端子に付属のACアダプター(15V/400mA)を接続し、コンセントに差し込みます。

- * [電話]端子と[回線]端子を逆に差し込むと本装置が正常に動作しませんのでご注意ください。
- * 電話機の電源コンセントは抜かないでください。電源を利用していない電話機をご利用の場合は、[電話機の電源]は必要ありません。
- * お使いの電話機によっては電話機の電源コンセントの位置が接続イメージと異なる場合があります。予めご了承ください。
- * お客様の電話設備によっては工事が必要な可能性があります。
- * お客様の電話機によっては一部機能が利用できない可能性があります。

【ドアホン機能付電話機をご利用の場合】



3. 各種設定と操作方法について

3-1. 設定を確認する方法

本装置は、ACアダプター(プラグ側)を差し込み電源がONされると、現在の設定を音声で確認することができます。

- 1 ACアダプター(プラグ側)を抜き電源OFFの状態にします。
- 2 再度、ACアダプター(プラグ側)を差し込み、電源がONされると、現在の設定を音声で読み上げます。
 ※読み上げる音声は「通常回線です」と「ファクシミリなしです」あるいは「ファクシミリありです」となります。
 ※工場出荷時設定は初期設定状態の為、下記の音声を読み上げます。
 「通常回線です。ファクシミリなしです。」

3-2. 「FAX対応モード」の設定・解除方法

本装置は、FAX機能を搭載した電話機をお使いのご家庭で使用される場合、下記の設定が必要です。

【FAX対応モードを設定する方法】

- 1 ACアダプター(プラグ側)を抜き電源OFFの状態にします。
- 2 **[大]**を押しながら、ACアダプター(プラグ側)を差し込みます。
- 3 「ファクシミリありです」と音声の流れたら設定完了です。ボタンから指をはなしてください。

【FAX対応モードを解除する方法】

再度、上記①～②の動作を行います。
 「ファクシミリなしです」と音声の流れたら解除完了です。ボタンから指をはなしてください。

【ご注意】

- FAX受信時に、送信側(相手)に警告メッセージを流す場合があります。これは送信側(相手)のFAX機の設定によるものです。予めご了承ください。
- FAXを受信する前にアナウンスを流すタイプのFAX付電話機と本装置を接続後、FAX受信ができなくなった場合は下記の方法をお試しください。
- ①自動通話録音機本体のFAX設定の有無に関わらずお客様の電話機のFAXに切り替わるまでの呼び出し回数を確認してください。
- ②呼び出し回数が10回などの場合、呼び出し回数を5～6回等、短い呼び出し回数に設定してください。